

日高支所管内より



### 夫婦仲よく、トマトを栽培中！

北添 寛子さん(41)

東京都出身の寛子さん。東京で出会った、夫の裕務さんが地元・日高村に帰るのを機に、結婚しました。二人で始めたトマト栽培も6年目。苦労もありましたが、今では楽しんで作業しています。でも、虫はまだ苦手です。夏休みには、寛子さんのお母さんと妹さんが苗の定植を手伝いに来てくれます。

仲よし夫婦で、撮影の日も、ご夫婦で現れたので、一緒にパシャリ♡

吾北支所管内より



### 記憶に残るプロポーズから50年

近澤 資高さん (73)  
美佐子さん(69)

今年、結婚50年の金婚式を迎えたお二人。青年団で出会い、恋愛に発展しました。資高さんは美佐子さんへプロポーズする前に、美佐子さんのお父さんに結婚したいと言ったそうです。美佐子さんは「いきなりだったから、横におった私が一番びっくりしたわ！」と笑顔を見せます。4世代が同じ敷地で暮らしていて、家族みんな仲良しなのが自慢です。

仁淀川  
地区

## から こんにちには 今月の〇〇 気になる人

土佐市支所管内より



### ちょっぴり強気な ツンデレちゃん♡

チョコちゃん(メス・10歳)  
飼い主：矢野 麗子さん

ミニチュアダックスフンドのチョコちゃんは人懐っこくて、甘えん坊ですが、麗さんがそばにいるときは、ちょっぴり強気になるツンデレちゃん♡

食べるのが大好きで、少しぼっちゃりなところがチャームポイント。

チョコちゃんは子犬の時、お孫さんが連れてきたそうで「本当は孫の犬やけど」といいながら、もうすっかり「麗子さんちのチョコちゃん」です。

吾川支所管内より



### 山のでっぺんで、 フルーツトマト作ってます

秋山 恭一郎さん(54)

「仕事で資材を配達に来たら、トマトを作ってみないか？と、誘われたから始めたんです」と、恭一郎さんは話します。驚きのフットワークの軽さで、35歳からトマト農家へ転身しました。育てるトマトは仁淀川町の標高の高い所で作るフルーツトマト「びゅあトマト」。「軽い気持ちで始めてみて大変！でも、性分にあってます」と、にっこり笑顔(^^)



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

## 5 組織活動

### 藍の生葉染めを体験



オリジナルの染めが完成

土佐市女性部は8月17日、土佐市で「草木染め教室」を開き、女性部員や地区内外の地域住民ら18人が参加しました。香美市在住の染織作家の山崎香織さんから藍の生葉を使った、たたき染めと浸し染めを学びました。宮地幸部長は「鮮やかなスカイブルーに染まって驚いた。参加者に喜んでもらえてよかった」と話しました。山崎さんは「藍は育てやすい植物なので、興味のある方はぜひ育ててみて」と話しました。

## 3 スクール

### 包丁の研ぎ方を学ぶ



包丁を研ぐ受講生

「あぐりライフスクール」は8月13日、佐川町で4回目の授業を開きました。「包丁の研ぎ方教室」に受講生ら20人が参加し、研ぎ方を学びました。この町で笹岡はさみ製作所を営む笹岡悟さんが、砥石の準備の仕方や研ぎ方を紹介しました。受講生は「砥石も研がなければいけないと初めて知った」「ステンレスでも研げることがわかった。家庭でもやってみよう」と喜びました。

## 6 営農

### シキミ、サカキ出荷中



シーズンになると出荷場の水槽はシキミとサカキでいっぱいになります

花木生産部会では、茶の補完作物として部会員64人がシキミやサカキを栽培しています。盆や彼岸、正月の時期を中心に、通年で約19トンの出荷を行います。県内や四国内、関西方面に出荷し、出荷先の風習に合わせて、枝の長さや形を整えて、束ねます。仁淀支所営農経済課の中田恵一課長は「市場から高評価を得ている。消費者の期待に応えられるよう、続けていきたい」と話しました。

## 4 組織活動

### 真鍮でオリジナルスプーンづくり



木型や木槌でくぼみを作っているところ

土佐市女性部は7月27日、土佐市で真鍮スプーンづくりの講座を開きました。女性部員ら11人が参加しました。参加者は土佐市在住の造形作家の玉木かつこさんから作り方を教わりました。好みの大きさにカットした真鍮板を、木型や木槌でくぼみにし、槌目や刻印で表面に模様を施し、やすりなどで磨いて綺麗に仕上げました。参加者は「記念になった」「好きな形にできた。またやりたい」と喜びました。



高橋さん（中央）に作り方を学ぶ隊員ら

## 1 組織活動

### 赤い禪隊、羊羹を学び「おきやく」のメニューに

助けあい組織「赤い禪隊」は8月21日、土佐市で羊羹づくりの勉強会を開きました。隊員やJA職員ら12人が作り方を学びました。土佐市の老舗和菓子店「のしや本家」の高橋宏暢さんを講師に招きました。火加減や餡のとり具合など職人直伝のコツを教わり、隊員らは熱心にメモを取りました。4種類の砂糖でそれぞれの味に仕上げ、食比べ、味の違いを学びました。また、佐川町産のほうじ茶を使い、ほうじ茶羊羹の試作も行いました。中村卓司隊長は「先生に直接質問ができたので、レシピになり大切なポイントが良く分かった。本番まで練習を重ね、腕を磨き、甘い羊羹を作りたい」と意気込みました。



熱心に話を聞く生産者ら

## 2 営農

### ユリ若手生産者環境制御技術を学ぶ

高知県中央西農業振興センターと、とさし営農経済センターは8月19日、土佐市で若手生産者向けのユリの勉強会を開きました。生産者、JAや行政担当者ら11人が参加し、環境制御技術への理解を深めました。県中央西農業振興センターの松田歩美さんが、栽培時における環境制御装置の有効性を説明しました。ハウス内の温湿度、二酸化炭素濃度などを「見える化」し、客観的なデータを知ることによって、適正な栽培管理ができると話しました。生産者は導入する際のコストやデータの見方などを質問し、熱心に学びました。松田さんは「ユリ栽培では、環境制御技術の導入事例はほとんどない。ハウス内の状態を確かめることで、収量や品質の向上につながれば」と話しました。



# えいのう〜



あなたもチャレンジ! 家庭菜園

※関東南部以西の平坦な地を基準に記事を作成しています。

## ホウレンソウ 酸性土を矯正し、排水を良くする

園芸研究家●成松次郎

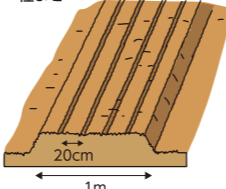
ビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜で、特に日本人に不足しがちなビタミンB群や、造血作用に関係する葉酸、そして鉄分とカリウムが多いのが特徴です。生育の適温は、15〜20度で冷涼な気候を好み、耐寒性は強いが暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えます。関東以西の地域では、夏取り以外は栽培できませんが、冬取りの栄養価が高く、甘味も増し最もおいしい季節です。

平らにならし、条間20cm、深さ1〜2cm程度のまき溝を切り、まき溝を板切れを立てて平らな溝に仕上げ、1cm間隔に種をまきます(図1)。1cmほど覆土し、たっぷり灌(かん)水します。そして、風雨や害虫から幼苗を守るため不織布をべた掛けします(図2)。

せします(図4)。「病害虫の防除」ヨトウムシは見つけ次第、捕殺し、アブラムシには、気門閉鎖剤(商品名:粘着くん液剤)などで防除できますが、不織布をべた掛けして飛来を予防すると良いでしょう。「収穫」草丈が25cmくらいを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。株元の根を鎌やはさみで切り取ります。直売所などに出荷する場合は、枯れ葉を除いて300gくらいに束ねます。

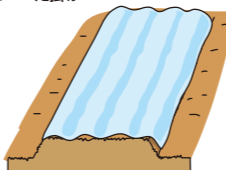
「種まき」適期は9〜10月。栽培床は「畑の準備」ホウレンソウは酸性土を嫌うため、事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布してよく耕しておきます。次に、幅1mの広幅の栽培床を作り、1平方m当たり化成肥料(N:P:K=10:10:10)150gと堆肥2kgを土とよく混和しておきます。

図1 種まき



土を軽く盛り上げて幅1mの栽培床を作る。板切れなどで幅2mm、深さ1〜2cmの種まき溝を付け、1cm間隔に種まきする

図2 べた掛け



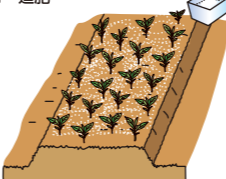
風雨や害虫から守るために、不織布をべた掛けする

図3 間引き



発芽そろいの後、密生部を間引き。その後2〜3回に分けて間引き最終的に1本立てにする

図4 追肥



草丈10〜15cmのとき、化成肥料を条間にまき、移植などで土寄せする

ためしてみたいイチョシ商品

### エコープ こしあん・粒あん

実りの秋、食欲の秋ですね。暑さも一段落し、冷たいスイーツではなく、団子とかお饅頭が恋しい季節になりました。エコープのあんこは北海道十勝産の小豆を使用しています。こしあんは甘さひかえめ、粒あんはかたねりタイプです。秋の夜長のお供にいかがですか?

Aコープ・直販店で取扱中! (店舗によっては取り扱いがない場合もございます。ご了承ください)



今月の病害虫対策

## ニラ

### 白斑葉枯病 (灰色カビ病)

これから気温が下がってくると、ニラ栽培において白斑葉枯病の発生が多くなります。しっかりと対策を行い、白斑葉枯病の発生を防ぎましょう。



宮農指導員 平野 辰彦

【被害の様子】葉に白色の小さな斑点を散生し、後に円形ないし長紡錘形の5〜15mmの病斑となる。

病斑の中央部は灰白色、周辺部は淡黄色を帯び、健全部との境界は不明瞭。病斑がさらに進展すると、葉先や葉縁から枯れ上がり枯死する(枯死部に黒色小粒の菌核を多数形成)

#### 【発生条件】

・一次伝染源は、被害葉とともに土中のこった菌核。二次伝染源は、被害部に形成された分生子。  
・発病適温は比較的低温(10〜20℃)。風通しが悪く、多湿環境下では発病と伝染が盛んになる。  
・葉が濡れることで侵入・発病する(連続12時間)。

#### 【対策のポイント】

・ハウス栽培では、換気を十分にを行い、



※JA版農業電子図書館より記事抜粋

通路などへもみ殻などを施用し、乾燥させるようにする。  
・露地栽培では低湿地や排水不良地をさける。  
・捨て刈りした場合、被害葉からの感染を防ぐため、被害葉は圃場周辺に放置せず持ち出し処分する。

#### 【防除のローテーション例】

・中発生ほ場(前回収穫時、中発生の場合) / 収穫サイクル45日  
・前回収穫時、中発生の場合 / 収穫サイクル45日  
・収穫直後①トップジンM水和剤灌中↓  
②カリグリーンナアミスターフロアブル20混用↓③セイビアーフロアブルまたはアフエトフロアブル↓④カリグリーンナストロビーフロアブル混用またはファンタジスタ顆粒水和剤

## 促成胡瓜の管理ポイント



宮農指導員 前田 尚吾

### 1 定植後の湿度と水管理について

初期の根づくりは長期栽培を行う上で重要な時期です。それを疎かにすると軟弱徒長や退化側枝の発生に繋がります。その後の生育不良や収量の山谷等の起因になります。よって、かん水は株元及び畝中央部をめがけて行ってください。

### 3 病害虫について

この時期の害虫は「アザミウマ類、ヨトウムシ」への防除がメインとなります。一部「アブラムシ類、コナジラミ類」が発生します。

特に「ミナミキイロアザミウマ」の成虫は外からの飛び込みが多く「黄化エソ病」を媒介しますので、定期的な防除が必要となります。薬剤への抵抗性も少なからず確認されていますので、同じ薬剤を使わず他の薬剤とのローテーションを検討し、防除に努めてください。

### 2 摘心位置と摘果について

摘心位置は概ね13節目で行い、主枝の着果は4〜5本までとします。着果数が多いと側枝の動きが悪くなり退化側枝となりやすく、12月の収穫量に影響が出てきます。

また、誘引枝以外の側枝は1節摘心を行い、根への負担をかけすぎないようにしてください。実の肥大が始ま

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

スプレー菊って、今までのと違うんだ！外国生まれなんだ！って感心しました。知りませんでした。「菊」って、「秋」って感じて良いね!! です。

(仁淀支所管内・Mさん60歳)

▼私もこの記事で初めて知りました！意外ですよ。キク科の花はバリエーションがいろいろありますね。マーガレットも、ダリアも、コスモスもキク科。季節問わず、いろいろな姿で楽しませてくれますね。

老人の特権で、8月31日の宿題の山がないとはいえ、あわてふため子どもたちをみているとなんだかこちらまで「そわそわ」な今日、この頃です(笑)

(百波支所管内・Nさん74歳)

▼その気持ち、よくわかります。「あの頃」を思い出すのが、親の気持ちになるのか、そわそわします。夏休みが終わわり、たくさん荷物を持って、登校している子どもたちの姿を見ると「乗っていくかえ」と声をかけたくありません。

月に一度はJA春野直販所にいごと行って、トマトやキュウリ等々買ってきます。伊野の直販所には週3日は行っています。店員さんとおしゃべりも楽しみの一つですね。今はぶどうをよく買います。

(伊野支所管内・Oさん70歳)

▼楽しみながら、上手にお買い物をしてあげたい姿が想像できません。直販所では旬のものが手に入りやすいので、うれしいですよ。これからもどうぞ、ごひいきよろしく願います。

ニラともやしのりサラダ、暑い夏に見て気に入って、さっそく作って食べてみて、すごくおいしかったですよ。季節に合わせて、特に野菜中心の料理の紹介、楽しみます。

(土佐市支所管内・Oさん75歳)

ニラともやしのりサラダ、作ってみました。冷蔵庫にある材料でできるのが良いですね。さっぱりしており、おいしく簡単な点がよいです。

(佐川支所管内・Hさん67歳)

▼調理に火をあまり使わず、味付けはお酢でさっぱりで、冷蔵庫にある材料で作れる」というのは、毎日料理をされる方にはうれしいレシピでしたね。ドレッシングを変えたら、秋、冬とながく楽しめるようなレシピです。重宝しますね!

なす、ピーマンの料理20種類以上と出ていました。教えていただきたいなと思いました。

(佐川支所管内・Yさん66歳)

▼わたしも目を疑いました! 20種類ですすごいですね。それだけで、1冊の本が出せそうです。

## 今月の俳句・川柳

サイドミラー

おさまりきらぬ雲の峰

(越知支所管内・Kさん56歳)

もう来るな

作物やられ台風は

(仁淀支所管内・Nさん75歳)

倅せはすぐそばに

海の幸山の幸

(伊野支所管内・Nさん82歳)

夏バテに四万十ポーク

元気でる

(佐川支所管内・Yさん78歳)

## おたよりイラストコーナー



Sさん  
(仁淀支所管内)

Kさん  
(吾北支所管内)

おいしい料理とお酒でおもてなしをします。

日時

令和元年 10月25日(金)

開場 17時～ / 開始 17時30分～

会場

JA高知県佐川支所 パストラルホール

チケット代

4,000円(抽選券付) ※完全前売り制のため当日券はありません。

チケット購入・お問合せ先

JA高知県仁淀川地区 組合員課(武山・和田)  
高岡郡佐川町甲1751-1 TEL: 0889-22-7809



赤い禪隊とは... JA高知県仁淀川地区にある男性のみで組織されている助けあい組織

## INFORMATION

## お知らせ



今年もやります!

赤い禪隊  
土佐のおきゃく  
2019

～心を込めた男のおもてなし!～